

© Yuri Shibnev



ほく アムール・レパード
はじめまして! 僕 Amur Leopard!

し
知 ろ う
ま も ろ う
アムールヒョウ



まぼろし まも しぜんほごく
がんばれ! 幻のヒョウと ヒョウを守る自然保護区レンジャー

2008年1月発行
Publisher 野口 栄一郎 (FoE Japan) Editorial Staff 福岡 愛貴 Photography Yuri Shibnev Design/illustration 大塚さやか



国際環境NGO FoE Japan (エフ・オー・イー・ジャパン) [NPO法人]

〒171-0014 東京都豊島区池袋3丁目30番地8号 みらい館 大明 1階

TEL:03-6907-7217 FAX:03-6907-7219

E-mail: info@foejapan.org

<http://www.FoEJapan.org>

FoE (フレンズ・オブ・ジ・アース) は日本を含む70か国で活動している環境保護団体です。

このブックレットは公益信託地球環境日本基金の平成18年度助成を受けて作られています。
この小冊子を置いて頂けるお店や施設を探しています。ぜひご連絡下さい。



© Yuri Shibnev

ぼく し
僕を知ってる？
ぼく おも
僕、どこにいると思う？



中国・北朝鮮と国境を接するロシア沿海地方、
タイガの森が広がる一角にあるケドロバヤ・パジ自然保護区に、
雪の中にすむヒョウがいます。幻のヒョウ、アムールヒョウ。
ヒョウの中でも世界で一番北にすむヒョウで
寒さから身を守る長くてふわふわの毛が特徴です。
平均寿命は15年。妊娠期間は90～105日で
1回の出産で2～4頭を産むといわれています。



ぼく
僕はアムールヒョウ。
ぼく えんかいちほう しぜんほごく
僕のいるところはロシア沿海地方の自然保護区。
ふゆ さむ ばる
冬は寒いけど、春はアネモネや
はな さ
スマレの花がたくさん咲くし、
あき やま あかいろ きいろ そ
秋は山がきれいな赤色や黄色に染まる。
きみ
君のところはどう？

- 所在地:ロシア沿海地方 Khasanskiy 地区
- 創設:1916年
- 広さ:18,044ヘクタール(180平方キロメートル)
- 現在の保護区長:イリーナ・マースラヴァ (Irina Maslova) 区長
- ケドロバヤ・パジ自然保護区の貴重な動植物:
維管束植物918種。ヤマメやイワナなど川魚12種。
サンショウウオなど両生類5種。トカゲなど爬虫類
6種。カワセミ、オシドリ、プッポウソウなど鳥類184
種。絶滅の危惧されるアムールヒョウ、アムール
トラなどの大型肉食獣をふくむ54種類の哺乳類



しぜんほごく あき
ケドロバヤ・パジ自然保護区の秋

© Anatoly Petrov



ぼくは
僕ぼくのう生まれたこの自然保護区には、
山やまがあおって小川おがわが流ながれていて、
僕ぼくといいろんな生きものがすんでるよ。

シカおおやイノシシあらわやクマあらわがいて、
大きおおくてこわいトラもときどき現あらわれるし、
小川おがわにはカエルやヤマメあらわがいるよ。

ケドロバヤ・バジ自然保護区一帯には、
針葉樹と広葉樹が豊かに混じる天然の森林が広がります。
その森の多様性から大小様々な野生動物の生きていける
世界的にも希な野生動物の宝庫となっています。
ロシアの森(タイガ林)は世界の森林の20%を占め、
たくさんのCO₂をその樹木や土壌に貯えることで、
地球温暖化防止にもひと役買っています。

ぼくは
僕ぼくはこの春はるが好きす。

いろいろな生きものが動き出すからね。
この保護区ほごくで働はたらいてる自然保護レンジャーしぜんほごの
人ひとたちもやっぱり春はるが好きすみたい。
君きみのまわりにはどんな生きものがいる？



じぶん
自分のなわばりを見まわるアムールヒョウ。
なんてきれいなんだろう！

© Yuri Shibnev



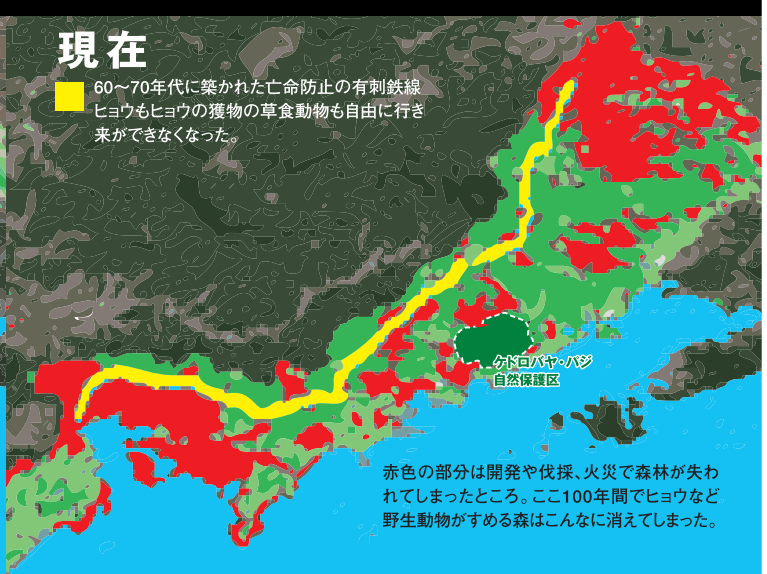
あめ
雨あがりの水たまりで
の
ゴクゴク水を飲むカラスアゲハ！



ぼく い ぼしよ
僕らが生きられる場所は、
 ぼく う まえ へ
僕の生まれてくる前にだいぶ減ったみたい。
 ぼく やせい い
いま僕らが野生のまま生きられる
 きぼう ぼしよ しぜんほごく
希望の場所は、この自然保護区。

かつてはロシア沿海地方のほか、中国北東部や朝鮮半島にも生息していたアムールヒョウ。開発や伐採、火災によって広く森林が失われ、ヒョウの獲物の草食動物もヒョウ自身も住処を奪われました。現在では絶滅の危機にさらされ、その数わずか30頭前後。限られた森で生きることを余儀なくされた野生のアムールヒョウたちには、近親交配の問題も起きつつあります。

ぼしよ なかま へ
すむ場所がなくなって仲間も減っちゃったけど、
 ぼく い
僕はここで生きようとしてる。
 ぼく まいとしはる のはら ある
僕はこれからも毎年春の野原を歩きたいし、
 よめ み
いつかお嫁さんだって見つかるつもりだからね。



だ^{にんげん}けど、^{かんけい}がんばっても
それは人間に^{かんけい}関係する

ぼく^{ちから} 僕らヒョウの力^{ちから}で^{きみ}たちうち^{はな}できない^{きみ}こともある。
ことだから、君^{はな}に話^{きみ}していい?



20世紀から今日までに何頭ものアムールヒョウが
その希少な毛皮を目当てとする密猟の餌食となりました。
そして人間の火の不始末で起きる森林火災や、行き過ぎた森林伐採で
かつてのアムールヒョウ生息地は寸断され、年々生息域が縮小していきました。
さらに、開発を免れた本来の自然が見られるケドロバヤ・バジ自然保護区でも、
毎年密猟や森林火災から懸命にヒョウやほかの生きものたちを
守らねばならない状態です。

いま僕らを取り巻く状況は^{けっこうたいへん}けっこうたいへん。
森や山で^{おこしてしまったり}火事を起こしてしまったり、
森の木を^{きり過ぎてしまったり}切り過ぎてしまったり、
このふさふさの毛皮を^{めあ}目当てに
僕ら^{ねらったり}をねらったりする人がいるんだよ。

タイガ林の火災によって
野生動物は森を追われた



●2007年4月下旬、保護区の間近を走る鉄道の線路付近から火災が発生し、保護区内への延焼を防ぐためケドロバヤ・バジ保護区のレンジャーたちが消火活動に出動しました。レンジャーたちは三日間かけてこの火災を鎮火しましたが、この消火作業の過労から最年長のレンジャー、アレクサンドル・ザエフさん(59歳)が消火現場で亡くなりました。

2003年に密猟者から押収された
アムールヒョウの毛皮



●2007年にもケドロバヤ・バジ自然保護区に近い山でアムールヒョウが殺害される事件が起きました。メスのアムールヒョウ1頭が射殺体で見つかりました。

でも、僕たちのすめる場所を守ろうとして
一生懸命働いている人もいるよ。
ロシアにもいるし、日本にもいるんだ。



保護区には森林とヒョウなどの野生動物を守るために働いているレンジャーがいます。

主な仕事は保護区の自然の調査と保護区施設の維持管理、ヒョウなどの野生動物の生息調査に加え、密猟や違法伐採の取り締まりや罠の撤去、火災の防火・消火活動など。

またロシアや日本の環境NGOや研究者も、ロシア政府に保護区の範囲を広げるよう提案したり、日本の企業に対し違法伐採された木材を輸入しないよう訴えるなど、森林と野生動物の保護に取り組んでいます。

保護区をパトロールするレンジャーさんたち。

シカや僕らを撃とうとこっそり保護区に

入ってくる人たちをパトロールしたり、

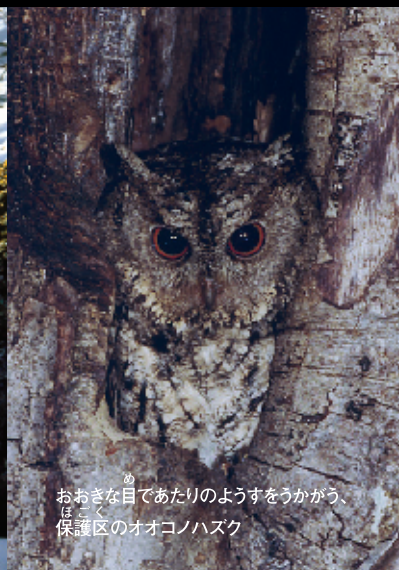
森で火事が起きたら消火器を持って出動して

熱や煙と闘って炎が広がるのを食い止めるんだ!



アムールヒョウは気温マイナス30℃の真冬も冬眠せず生き抜く

© Yuri Shibnev



おおきな目であたりのようすをうかがう、保護区のおオロノハズク



ケドロバヤ・バジ自然保護区を守る、こころ優しいレンジャーたち



レンジャーさんたちのお仕事は大変。
 もちろん危険だっていっぱい。
 今はどうやって僕らが生きのびるために
 必要なものをそろえるかを考えているんだ。

そんながんばってレンジャーさんたちが
 望むのは、僕らアムールヒョウが
 すめるこの保護区を未来へ残すこと。
 そしていつか、
 このケドロバヤ・パジ自然保護区を
 みんなにも見てもらいたいんだって。

ケドロバヤ・パジ自然保護区は国立の自然保護区ですが、
 限られた予算で年々老朽化の進む設備や装備を修理したり買い換えたり
 することができず、保護区のパトロールや火災消火の仕事を続けるために
 内外からの支援・応援を受け入れる態勢をとっています。

Web Site FoEホームページから <http://www.foejapan.org/> ➡ ロシアタイガ



<http://www.foejapan.org/siberia/index.html>

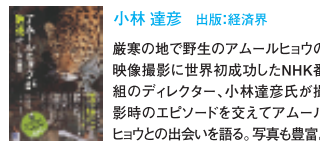
FoE Japan 検索

知ろう まもろう アムールヒョウ

トップページの
ボタンを
クリック!

国際環境NPO FoE Japan
 ケドロバヤ・パジ自然保護区と協力
 しているFoE Japanのホームページ
 「知ろう まもろう アムールヒョウ」で
 ヒョウを守るレンジャーの働きぶり
 を見守り、応援して頂けます。ヒョウの
 すめる野山を守って今日も孤軍奮闘
 している保護区の人々へ声援を送り
 しましょう。

Book アムールヒョウが絶滅する日



小林 達彦 出版:経済界

厳寒の地で野生のアムールヒョウの
 映像撮影に世界初成功したNHK番
 組のディレクター、小林達彦氏が撮
 影時のエピソードを交えてアムール
 ヒョウとの出会いを語る。写真も豊富。

Zoo アムールヒョウのいる動物園

[日本] 旭山動物園(旭川) / 王子動物園(神戸)
 安佐動物公園(広島)

[海外] コルチェスター動物園(イギリス) / コペンハー
 ゲン動物園(デンマーク) / セントルイス動物園(アメリカ)

希少なアムールヒョウに会える動物園を訪れてみよう。
 動物園のアムールヒョウを大切にすることでアムールヒ
 ヨウの遺伝情報の多様さを保つことができ、将来野生の
 アムールヒョウの繁殖を助けられる可能性もあります。

Support 保護区の仕事をサポート

郵便振替
 郵便振替口座:00130-2-68026
 口座名:FoE Japan
 * 郵便局備付の払込取扱票をお使いください。
 * 通信欄に「アムールヒョウホコ」と明記の上、
 住所、氏名をお忘れなくご記入ください。

[銀行振込]
 お振込先:三菱東京UFJ銀行 目白支店
 普通 3932089 口座名:エフ・オー・イー・ジャパン
 * お振込の後、おそれいりますがFoE Japanへ
 お電話・Email等で(1)氏名、(2)ご寄付がアム
 ールヒョウ保護のためであること、(3)お振込額、
 (4)お振込日、をお知らせ下さい。

Support NGOアリーナから寄付を送る
<http://www.ngo-arena.org/>
 ➡ [動物] または [環境保全] ➡ [アムールヒョウ]

この森が守られればきっと会える。
僕らはここでもっと生きたい。
レンジャーの人たちや君の
がんばれ! って声が聞こえるし。

こんどは、君の話をしてよ。

地球を元気な星に!

40億年といわれる地球の生命の歴史のなか、生きものたちの「種」の絶滅や交代は気の遠くなるほどの「ゆっくりさ」で進んできました。しかし、人間が環境に悪影響を与えたここ100年間は、その100倍から1000倍という途方もないスピードで生きものたちが姿を消しています。このような「大量絶滅」で生態系がバランスを失うと、空気と水と食べものを地球の生態系に依存する私たち人間も生きられなくなります。

地球を元気にするため、たとえばこれからは、紙や文房具・家具を買うとき、環境を壊さない方法で切られた木を原料にした製品を選んでみましょう。

そうした習慣が世界の人びとに広まると、地球はヒョウたち生きものも人間も「種」としての寿命を生きられる、元気な星になります。

鋭い爪や牙で獲物を捕らえ「猛獣」と言われるヒョウ。一見怖いものなしの彼らですが、餌となる生きものたちに依存し、頭数も少ない彼らこそ、じつは人間の行いや環境の急変に最も大きく影響される存在です。自然破壊や密猟の脅威に直面しながら今日も森で生き抜くアムールヒョウと彼らを守る保護区レンジャーの人々を見守って応援しましょう。レンジャーの人々も同じ人間。みなさんの応援で毎日の仕事に向かう勇気を奮い起こせます。今日からアクションしましょう。生きものたちも、人と人も強く生きられるように。

FoE Japan (^-^)

とおみわたかくあな
遠くを見渡せ、隠れる穴もある
いかわずきい
岩山がお気に入り

© Yuri Shibnev